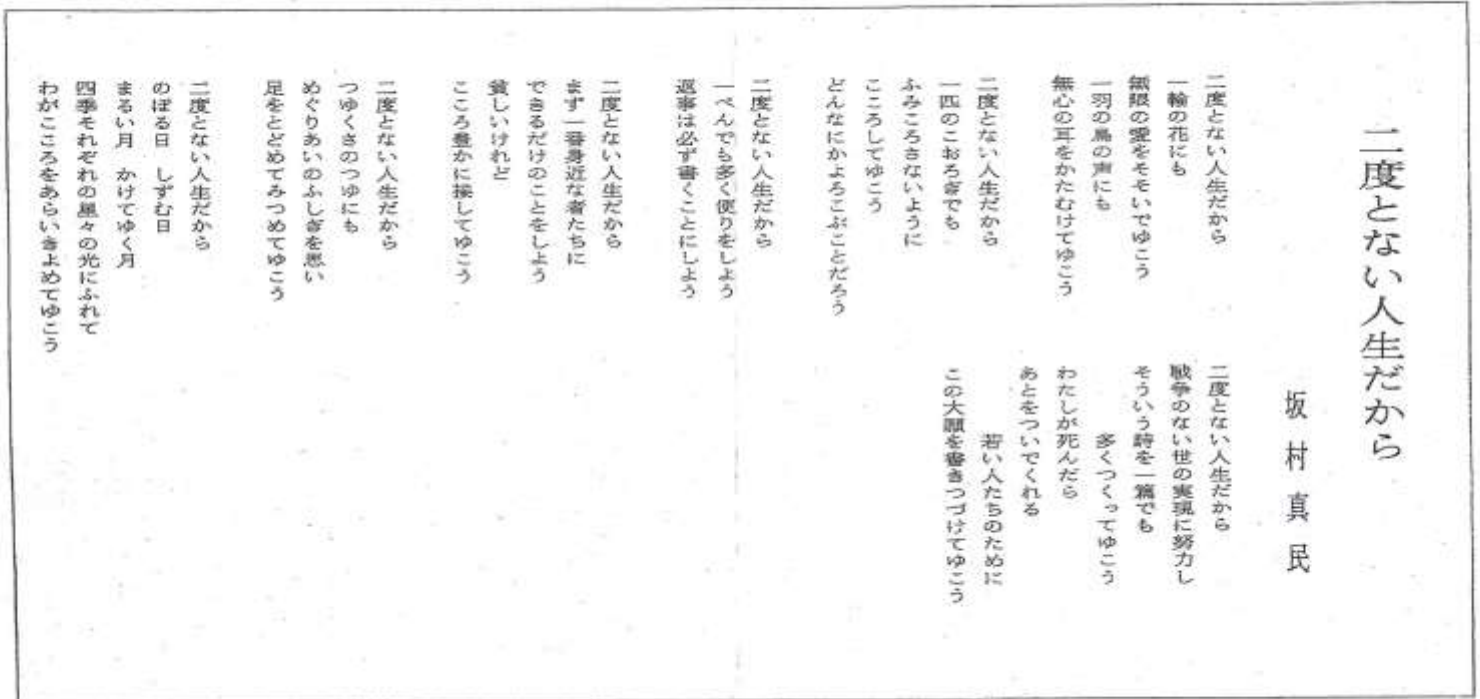


郷中だより

令和3年2月22日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第23号

坂村真民の詩 「二度とない人生だから」

人生の節目である立志を迎えた2年生に、自分の将来について考え、目標をもって生活をしてほしいという願いから、参観日に「二度とない人生だから」という詩に込められた作者の思いを感じ取り、さらに自分やクラスの「二度とない人生だから」について考えました。



後日、その授業を参観された保護者の方があいさつ運動に参加していただき、「私は若い頃、坂村真民の詩集をずっと愛読しており、心の支えでした。ボロボロになっていますが今も捨てられず持っています。とても懐かしく授業を拝見しました。それに、もう子どもが人生について考えられる年になったのだなあと、随分成長したものだ、親として感慨深いものがあります。」と、話していただきました。

このお話を聴かせていただき、生徒たちも一冊の本との出会いが心の琴線に触れ、励まされたり、心の経験値が上がり自分の人生を豊かにしてくれたりすることがあるだろうと、改めて本との出会いを大切にしてほしいと思いました。ちなみに、私の好きな言葉は、作家 武者小路実篤の

「天与の花咲かす喜び とともに咲く喜び
人みるもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり」です。

ちょうど今、校庭の梅の花が美しく咲いています。

「人に見せるために咲いているわけではなく、自分に与えられた喜びだから、私は咲いています。あなたも一緒に咲きましょう。」
と言っているように聞こえます。



先日の性教育講演会で、「私たち一人ひとりが生まれてくることは、奇跡だ」と教えていただきました。あなたの代わりは世界中をさがしても、いないのです。お互いの尊い命を大切に、二度とない人生を自分らしく生きていきましょう。

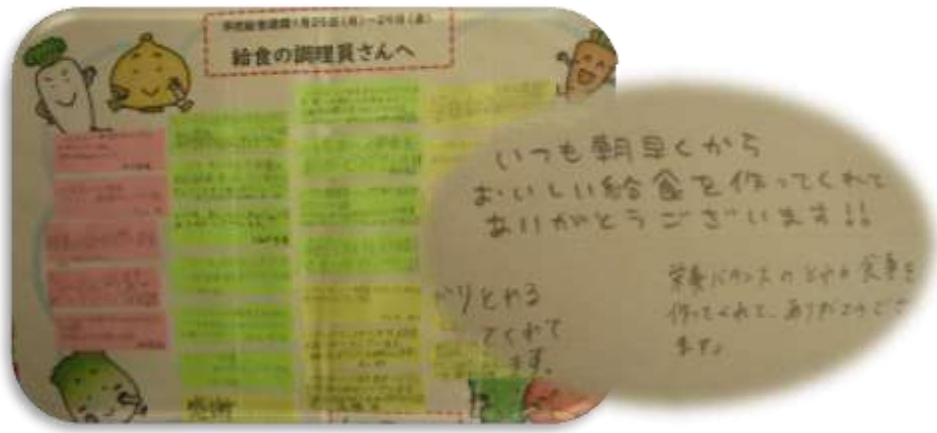
裏面に続く→

最近 ほっこりしたこと

校内を歩いていると、笑顔になれるものにたくさん出会います。たとえば、生徒同士の和やかな会話や、「こんにちは！」の元気のよいあいさつ、生徒と先生のやりとりから感じる、生徒の成長など……。また、掲示板に貼られている紙一枚にも、それを書いた人を想像して笑顔になることがあります。生徒昇降口で見つけました。



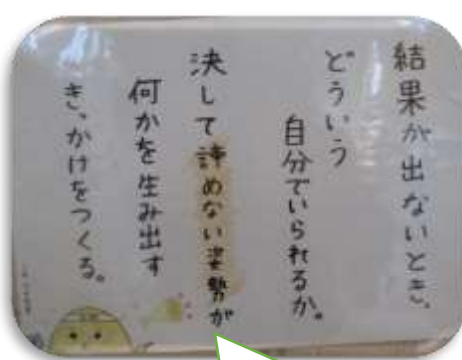
調理員さんたちから生徒へメッセージ



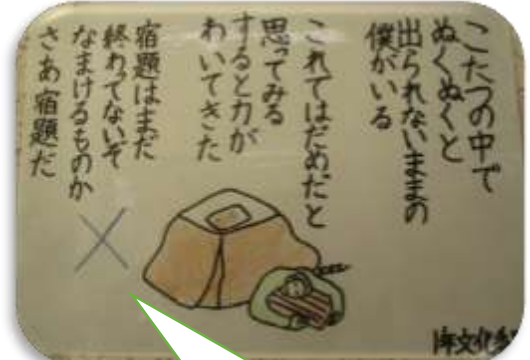
生徒から調理員さんたちへのメッセージ



「郷内中は、コロナに負けない」
気に入りました！



「そうだそうだ」と納得しました。



「なまけるものか」 いいですね！

また、こんなこともありました。
新制服を玄関に公開しているのですが、最初は2体を横に並べて置いているだけでした。なんと、最近、この2人が会話をしているように少し角度が変わっていることに気づきました！
きっと生徒がしてくれたのでしょう。
さりげなく見る人の心を和ませてくれた生徒へ
『玄関を通るたびに、癒されます。ありがとう！』



あいさつ運動に参加
してくれた
かわいい応援団！
ありがとう！

郷内地域の「たんぼぼ団プロジェクト」

2月21日、民主会館の地域交流事業たんぼぼ団プロジェクトで、今回、琴浦中学校の先生方と一緒に重松孝治先生の勉強会に参加する機会をいただきました。郷内地域の参加者は、たんぼぼ団の田辺さん、郷内公民館の伊達館長さん、郷内小学校の渡邊校長先生、郷内中学校の高塚、菊本、安倉、福添でした。「思春期の子どもたちに対する支援について」あっという間の2時間30分で、とても有意義で楽しい勉強会でした。

